



【校訓】 「自律・向上・友愛」

【教育目標】 「～新しい時代を生き抜く生徒の育成～」

校長 野々上 勝

文化発表会、ご観覧ありがとうございました。



総合的な学習の時間に探究学習として1学期から取り組んできた地域学習の『湯原学講座』、全校で気持ちを合わせて奏でたハーモニー『合奏』を発表した文化発表会。今の生徒ができる全力を尽くすことができました。

当日は9グループ（温泉、生き物、防災、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉、商品開発、伝統文化、情報発信）により、自分たちが取り組んできたことの目的や理由を明らかにしながら、地域活性化のための提言を発表しました。緊張しながらも自分と向き合い、聞いてくださる方々への「相手意識」を大切にするという経験を通して、生徒たちは本校の取組重点である非認知能力も高まったと自己評価し、達成感を味わうことができていました。

保護者・地域の皆様には寒い中、足をお運びいただき、温かい拍手をありがとうございました。また、取材やフィールドワーク等でご支援・ご協力をいただいた各事業所の皆様、大変お世話になりました。今年度の成果を足場とし、来年度、更に探究を深めていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



* 真庭支部新人相撲大会

11月6日（木）、落合中学校相撲場で開催され、本校から8名（2年生2名、1年生6名）が出場しました。大会前は、限られた時間の中での練習でしたが、練習を積んでいくうちに構えもそれらしくなり、四股（しこ）も力強さが増していました。大会では大相撲と同じ大きさの土俵で、ひるむことなくぶつかっていくことができました。どの選手も緊張の面持ちで相手に向き合い、勝負がついた後は緊張がほぐれ、勝っても負けても清々しい表情が印象的でした。



* 薬物乱用防止教室

薬物乱用防止教室は、国により、すべての中学校及び高等学校において年1回は開催することとされており、本校ではその講師として、医師、薬剤師、警察職員の方を年ごとに変えてお招きし、3年間で3つの側面から学ぶこととしています。

今年度は、本校の学校医でもある湯原温泉病院 院長 岡 孝一 医師より「薬物乱用の危険について」と題してご講演いただきました。薬物乱用は覚せい剤等の縁遠いものばかりではなく、体や気持ちが刺激を欲するようになるゲートウェイ（入口）として、タバコ、アルコールなども引き金になりうること。咳止めや睡眠導入剤なども用法・用量を守らなければ、オーバードーズ（過量服薬・過剰摂取）という乱用になること。そもそも、不適正な使用を1回でもすれば、それが乱用になること。体と心はどんどん刺激を求めて、我慢ができない状態になっていき、それを「依存」と呼ぶこと。更に、それを摂取しなければ、頭痛、幻覚、幻聴等の症状が出てくるようになり、それを「中毒」と呼ぶこと。子供でも買うことができる物の中にも、高濃度のカフェインが含まれる栄養ドリンクなどは、乱用→依存→中毒のリスクがあり、注意が必要であること等を丁寧に教えていただきました。

また、将来やこれからいろいろな関わりの中で、「もしも、誘われたら。勧められたら。」というテーマで、上手な断り方や対処の仕方についての演習を体験しました。生徒たちの生きる力の「引き出し」の中に大切にしまわされることを願います。



* 真庭新庄巡回图画展



* 十字屋絵画コンクール出展



* 12月の主な予定 *

- 12月 1・2日（月火）期末テスト 2日目・3日目
2日（火）避難訓練
4日（木）臨時PTA総会
5日（金）学校評価アンケート
8日（月）食育講座、学校運営協議会
22日（月）大掃除
23日（火）三者懇談（家庭学習日）
24日（水）終業式

* 臨時 PTA 総会 *

日時 令和7年12月4日（木） 18:30～
場所 湯原中学校ランチルーム

湯原小・中学校のこれからについての内容です。
お忙しいとは存じますが、ご参集をお願いします。